

平成28年度境港市原子力発電所環境安全対策協議会 会議録

次 第

■ 日 時：平成29年2月23日（木）午後2時～3時30分

■ 場 所：境港市民会館大会議室

■ 日 程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員紹介

4 議 事

(1) 島根原子力発電所1号機廃止措置について 【資料1】

(2) 島根原子力発電所2号機の審査状況について 【資料2】

(3) 島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる
流量計問題に係る再発防止対策の進捗状況について 【資料3】

(4) 島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクト腐食について 【資料4】

(追加報告) 島根原子力発電所2号機アクセスホールカバー取付溶接部の
ひびについて

(5) 平成28年度原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）の実施結果
について 【資料6】

(6) 島根原子力発電所周辺空間放射線量率（県内モニタリングポスト）
の測定結果について 【資料5】

5 その他

6 閉会

■ 出席者（別途出席者名簿参照）

■ 会議録（要旨）

- 1 開会（手島危機管理室長）
- 2 会長：中村市長のあいさつ
- 3 委員紹介

新任委員を紹介。その他委員については、名簿と席次表にて紹介に代える。

4 議事

<中国電力（株）島根原子力本部 取締役常務執行役員 古林本部長>挨拶

(1) 島根原子力発電所1号機廃止措置について【資料1】

<中国電力より説明>

平成28年7月に廃止措置認可申請を行い、直近までのヒアリング回数は20回。

平成29年2月14日に補正書を提出した。審査は終盤であり順調に進んでいる。

(2) 島根原子力発電所2号機の審査状況について【資料2】

<中国電力より説明>

平成25年12月25日新規制基準への適合性確認申請。直近までの審査会合83回開催。

①地震・地盤・津波 ②プラント関係 大きく2分野の審査を行っている。

・宍道断層の見直しについて

・フィルタベント設備、緊急対策所設置について 等、説明あり。

<委員>

緊急時対策所の設置について、免震重要棟と連携するならば、地下等で行き来する手段が必要ではないか。

<中国電力>

外気に放射性物質が排出される可能性がある場合に施設を使い分けるならば、委員のおっしゃるような問題が出てくる。しかし、完全に当初からこの新設された緊急時対策所で作業をする考えである。

(3) 島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題に係る再発防止対策の進捗状況について【資料3】

<中国電力より説明>

・業務管理の仕組みの改善

・業務運営の改善

・意識面の改善 について、現況等について報告

<委員>

当時、厳しく問題提起をした。本日経過説明を受けたが、意欲的に取り組んでおられる。マンネリ化にならないよう、個人の行動目標等、徹底的に意識改革を継続してもらいたい。

<中国電力>

確かにマンネリ化は気をつけないといけない。外部の有識者の方々にも進捗状況を報告するとともに、PDCAにおいて、あらたな問題、手法を取り込みながら、向上を目指して取組みを続けてまいりたい。

(4) 島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクト腐食について【資料4】

<中国電力より説明>

平成28年12月8日中央制御室空調換気系ダクトの腐食孔を発見。類似箇所点検により19カ所の腐食孔、1箇所10個のリベットの外れを確認した。原因調査及び再発防止対策の検討を進める。

(追加) 島根原子力発電所2号機アクセスホールカバー取付溶接部のひびについて

<中国電力より説明>

定期検査中、原子炉压力容器内のアクセスホールカバーの取付溶接部にひびを発見した。安全上の問題はない。

<委員>

アクセスホールカバーの取付溶接部は、圧力がかかるのか。振動はどうか。

<中国電力>

圧力は、大きくかからない。多少の振動はある。

<委員>

一般的に溶接部分に亀裂が入るとか、破損をするというのは、温度差による影響や振動がある場合があるが、この場合の原因はなにか。

<中国電力>

原因については、今は、言及できない。原子炉内の構造物のひび割れは過去にもある。その際の多くの原因は「環境」、「材料」等の応力腐食割れであった。このたびの事象においては、しっかりひびの深さ、原因究明をし、対応したい。まとまれば、公表する。

<会長>

2号機においては、適合性確認申請を行っており、万全なものとして申請をするところだと思う。そんな中でこういったことが起こるのは、住民の不信につながる。そのあたりしっかり私の方からもお願いしたい。

<中国電力(株)島根原子力本部 取締役常務執行役員 古林本部長>

ただ今、会長からもご指摘を受けましたが、しっかり時間をかけ、それぞれの機器の健全性を確認しながら、進めてまいりたい。

(5) 平成28年度原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)の実施結果について

【資料6】

<事務局(山田自治防災課長)より説明>

(6) 島根原子力発電所周辺空間放射線量率(県内モニタリングポスト)の測定結果について【資料5】

<事務局(山田自治防災課長)より説明>

※次第(5)(6)については、質疑なし

5 その他

委員の任期については、平成29年3月31日までとなっています。今後あらためて、1号委員は、各団体からご推薦いただき任命させていただきます。2号委員は、来年度新たに委員を募集します。

6 閉会

以上をもちまして、本日の協議会は終了とさせていただきます。
皆様、ありがとうございました。